

大伴小だより

富田林市立大伴小学校 令和3年3月24日（水）年度末号

さいご つた
～最後に伝えたこと～

こうちょう つつみ しゅうさく
校長 堤 周作

そうじじかん こうない まわ くつ お ば ねんせい ふつう ほうき ねんせい ちい ほうき いっさい
掃除時間に校内を回っていると、靴置き場で 6年生が普通の箒で1年生が小さい箒で、一切おしゃべり
することなく一心不乱にはいて塵取りにゴミを入れていていました。大きな 6年生と小さな 1年生が同じ
ばしょ やくわりぶんたん せんせい いっしょうけんめい そうじ かんしん ご ねんせい ろうか
場所で役割分担し、先生がいなくとも一生懸命に掃除していることに感心しました。その後2年生の廊下
い ちい からだ おお かさた おも しょうか か き うご おく あと ぞうきん ふ
行くと、小さな身体で大きな傘立てや重い 消 火器を動かし、奥にたまったほこりをはいた後、雑巾で拭いて
いました。さくら校舎とブルー校舎の外通路や靴置き場では、6年生と3年生が横に移動しながら丁寧には
いていました。別の日に4,5年生の教室廊下に行くと、給食の片づけで大部分の人がいない中、少人数で
こころ こ ろうか きょうしつ は ろうか はし はし ぞうきん
心を込めて廊下や教室を掃いたり、廊下の端から端までしっかりと雑巾がけしたりしていました。

わたし たんにん がっきゅう も こころ たいいくたいかい がっしょうこんくーる ま そうじ ぜったい ま
私も担任の学級を持っていた頃、体育大会や合唱コンクールでは負けても、掃除は絶対に負けない
くらす つく いっしょうけんめい すがた み わかし おも だ おおともしょう
クラスを作っていたので、みんなの一生懸命な姿を見ていると昔を思い出しました。大伴小のいいところ
を、また1つ見つけました。

がつなのか にち ぼらんていあ だんたい おおさかそうじ まな かい めい かたがた ほんこう といれ せいそう
3月7日（日）、NPO（ボランティア）団体「大阪掃除に学ぶ会」の25名の方々が、本校のトイレを清掃し
ただ あさ じまえ すうにん せいもんまえ せいそう てっいてき おこ じ ぶんかいかい じへいかい やく
て頂きました。朝7時前から数人で正門前の清掃を徹底的に行い、8時30分開会から 11時閉会まで約2
じかんはん ねんき はい べんき ゆうひこうしゃ かい こうしゃ かい しん びつ か びつ か
時間半、かなり年季の入った便器（夕日校舎1階、さくら校舎2階）を信じられないくらい“ピッカピッカ”に
みが いただ どうじつ ゆうし ぼごしゃ かた めい きょういん めい まな かい かた みが かた しなん いただ
磨いて頂きました。当日、有志として保護者の方5名と教員8名も、「学ぶ会」の方に磨き方を指南頂きな
がいっしょ せいそう わたし だんせいきょういん にん そと といれ こうしゃ かい といれ みが
がら一緒に清掃しました。私も男性教員と2人で、外のトイレとさくら校舎1階のトイレを磨きました。

だんたい そうじ とお こころ みが うんどう さんどう かたがた じしゅてき うんえい
この団体は、掃除を通して「心を磨く」という運動に賛同された方々により自主的に運営されています。
むしょう かつどう とくてい だんたい そしき かんけい ぞくせい きぎょう だいひょう しゅふ かた さまざま
無償で活動されており、特定の団体や組織とは関係なく、属性は企業の代表や主婦の方など様々です。
とんだばやし ない しょうちゅうがっこう じっせき おおさかふりつこうこう かつどう ほんこう そつぎょうしきまえ
富田林市内でも3つの小中学校で実績があり、大阪府立高校でも活動されています。本校では、卒業式前
といれ ねんせい きも おく だ かんが ひ なが
にトイレをきれいにして6年生を気持ちよく送り出してあげたいと考え、この日でお願いしました。

がつ にち すい す とお あおぞら もと はやざ かわづくら ねんせい いっしょ う そだ はなばな さ
さて、3月17日（水）透き通るような青空の下、早咲きの河津桜や6年生と一緒に植えて育てた花々が咲
みだ なか めい りっぱ そつぎょう ざいこうせいだいひょう しきこうはん さんか ねんせい すがた
き乱れる中、75名が立派に卒業しました。在校生代表として式後半に参加した5年生も、はじめある姿で
そつぎょうせい しゅくふく そつぎょうせい ねんせい わか ことば うた かんどうてき おおとも
卒業生を祝福してくれました。卒業生と5年生の別れの言葉と歌のかけあいがとても感動的で、「大伴ってい

いなあ」と改めて感じた卒業式でした。5年生は、大伴小の次の最高学年を担う人にふさわしく、凛々しくて
たの せいと わたし しきじ そつぎょうせい さいご つた さいご さいこうがくねん にな ひと りり
頼もしかったです。私が式辞で、卒業生に「最後に伝えたこと」を一部紹介します（以下要約）。

「なぜ べんきょう べんきょう べんきょう べんきょう べんきょう べんきょう べんきょう べんきょう べんきょう べんきょう
勉強をするのか、勉強をしなければならないのか」、中学数学の教員だった私は、受験勉強で苦し
む生徒たちによく問われました。その答えは私の年齢とともに変わりました。若い頃は、「論理的な思考力、
かんが ちから すうがく べんきょう じぶん ゆめ すこ ひろ こと
考える力をつけるため数学を勉強する」とか、「自分の夢が少しでも広がるように」とか答えていました。た
だ、これらの答えは確かに正しいのですが、何かしっくりとこないようにも感じていました。しかし、私も50歳
をこ こんなん くる くや さまざま けいけん べんきょう
を超えて困難なこと、苦しいこと、悔しいこと、様々なことを経験し、「しんどいのに勉強をなぜしなければなら
ないのか」という問いに、実感をもって話すようになりました。それを聞いてください。

おとし、当時東京オリンピックの水泳で金メダル確実と言われていた18歳の池江璃花子さんが、白血病
どうびょう にゅういん げんざい ふつかつ こうひょう わたし むすめ いけえ おな どし かつぱつ
になり闘病のため入院している（現在は復活）ことを公表しました。私の娘は池江さんと同い年であり活発
な子だったので、池江さんの病気を自分の娘のこのように感じて大きなショックを受けました。きっと、池江
さんのおや みちか ひとびと かのじょ なに ことば
さんの親や身近な人々は、「彼女のために何ができるのか?」「どんな言葉をかければいいのか?」などを
ひっし かんが こうどう じぶん ちちおや おも めぐ
必死に考えて行動しているだろう。自分が父親だったらどうしていただろう、と思い巡らせていました。

そつぎょうせい いま じぶん たす まわり たす ほう おお おも しょうらい
卒業生みなさんは今、自分が助けるより周りが助けられる方が多いと思います。しかし将来、かけがえ
ひと おっと つま こ おや こいびと しんゆう ぶかなど あい ひと たいせつ ひと まも ひと ひと くる
のない人（夫や妻、子ども、親、恋人、親友、部下等）、愛する人、大切な人、守るべき人ができ、その人に苦しみ
たお じたい お とき ささ しゃかい で きゅう ぶれっしや
倒れそうな事態が起こった時、支えることができるでしょうか？また、社会に出たら急にプレッシャーがかかり
お べめん じぶん さべつ りかい め しん
押しつぶされそうな場面もあります。うかうかしていると自分が差別されたり理解できない目にあったり信じ
られない裏切りにあったりすることもあります。そんな時には、たくさんの知識と考える力、主張する根性、人
をい や ことば お あ こうどう ひとり やわ なかま きょうりよく こんなん たむ ちから ひつよう
を癒せる言葉や折り合える行動、1人では弱いので仲間と協力して困難に立ち向かう力などがが必要です。

ちゅうがっこう こうこう ひび べんきょう のちろん ほんかくてき ぼし ぶかつどう せんばい こうはい
だからこそこれからの中学校や高校で日々の勉強は勿論、本格的に始まる部活動での先輩、後輩、
ちーむめいと ひたむきに努力すること、行事で意見が対立しても話し合って協力することを大切にしてい
べんきょう とき しっぱい とき かなら い み じぶん い き ふ
い。勉強などでしんどい時があっても失敗する時があっても、必ず意味があるのだと、自分に言い聞かせて踏
ばん ば べんきょう のちろん ほんかくてき ぼし ぶかつどう せんばい こうはい
ん張ってほしい。ただ、あまりにしんどい時には力を抜き、休んでもいい。風にゆらゆらと揺れながらもボキン
と折れない柳の木のように。皆さんには、「しなやかに生き抜く力」も身に付けてほしいと、切に願っています。

ねんせい みな いま くらす めいと せんせい わか さび わか あら で あ
1～5年生の皆さん、今のクラスメイトや先生との別れは寂しいけれど、別れがあるからこそ新たな出会い
があります。新たな出会いがなければ人は成長しません。4月から新たな気持ちで勉強や友だちづくりが
いちだん せいちょう たの たくま み たの おおとも こ
んばり、一段と成長した頼もしさや逞しさを見せてください。楽しみにしています。「がんばれ、大伴っ子！」